

## 1. はじめに

このガイドラインについては、令和2年5月25日発表の厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」及び令和2年5月25日発表の公益財団法人日本スポーツ協会並びに公益財団法人日本障がい者スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき、イベント参加者、運営者、選手、関係者が、イベントに安全・安心に参加できるよう、各都道府県知事の方針に反しないことを前提として、運営に当たり感染予防対策を取りまとめたものです。

## 2. イベント運営の基本的考え方について

イベントが開催される各都道府県知事の方針に従うことが大前提であり、開催や実施の判断に迷われた際は、開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等への相談を行った上で実施する。

### (1) 特定警戒都道府県に指定される都道府県

- 1) クラスタが発生するおそれがあるイベントについては、各都道府県知事からの自粛要請等に基づき、慎重な対応をする。

### (2) 特定警戒都道府県以外の都道府県

- 1) 各都道府県における、イベントを含む催物の開催に係る方針に従い、適切な感染防止対策（後述「3 イベント開催・実施時の感染防止策について」参照）を講じた上で実施をする。

## 3. イベント開催・実施時の感染防止策について

イベント開催・実施時の感染防止策について、各都道府県知事の方針に反しないことを前提として、イベントを開催・実施に当たり留意すべき事項です。

当社は各事項について、チェックリスト化し、適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示するとともに、各事項がきちんと遵守されているか定期的に巡回・確認することにより、イベントの運営者だけでなく、参加者を含む関係者全員が感染防止のために取り組みます。

### (1) イベントの参加者（選手、スタッフ、観客）の対応

当社は、イベント参加に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求める。また、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、イベントへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。なお、イベントの運営者が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものを挙げる。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（イベント当日に確認を行う。）。

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ② マスクを持参すること（参加受付時や会話をする際にはマスクを着用すること。）。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ④ 他の参加者、運営スタッフ等との距離（できるだけ2 mを目安に（最低1 m））を確保する。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）
- ⑤ イベント中に大きな声で会話、応援等をしない。
- ⑥ 感染防止のために当社が決めたその他の措置の遵守、運営者の指示に従うこと。
- ⑦ イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、当社に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

## （2）当日の参加受付時の留意事項

当社は、イベント当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全にイベントを開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行う。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置する。
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける。（会場入り口で体温を測り、発熱者を特定し入場を制限することも考えられる。）
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。
- ④ 参加者が距離をおいて（できるだけ2 mを目安に（最低1 m））並べるように 目印の設置等を行う。
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させる。
- ⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにする。
- ⑦ 当日の受付のほか、イベント前日までにチケットの受け渡しを行うなど当日の混雑を極力避ける。

## （3）イベント参加者への対応

### 1）体調の確認

当社は、イベント当日に、参加者から以下の情報を、当社が保存できる形で提出を求める。

来場前の協力依頼内容の以下に当てはまる場合には来場を見合わせて頂く。大会開催前 2 週間以内に「健康チェックシート」に上げる事項に該当する場合（チケット購入済みの場合は、原則として返金に応じる）当社の運営に協力頂けない場合。

#### 「健康チェックシート」

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※プライバシーポリシーに則りの取扱いに十分注意する。
- ② イベント当日の体温
- ③ イベント前2週間における以下の事項の有無
  - ア 平熱を超える発熱
  - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
  - ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
  - エ 嗅覚や味覚の異常
  - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
  - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
  - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ク 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

## 2) マスク等の準備

当社は、参加者がマスクを準備しているか確認する。なお、選手の試合中中のマスクの着用は参加者等の判断によるもの（※）とするものの、参加の受付、特に会話する時には、マスクの着用を求める。

（※）マスク（特に外気を取り込みにくいN95などのマスク）を着用して運動を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを周知すること。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないことについても周知する。

## (4) 当社の準備

### 1) 手洗い場所

参加者がイベント開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保する。

- ① 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
- ② 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること。
- ③ 手洗い後に手を拭くための布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない。
- ④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

### 2) 更衣室、休憩・待機スペース

更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意し、選手が試合を行うための服装に着替える更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備する。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。（障がい者の介助を行う場合を除く。）
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

### 3) 洗面所 洗面所（トイレ）

洗面所（トイレ）について、以下に配慮して管理する。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。
- ③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
- ④ 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること。
- ⑤ 手洗い後に手を拭くための布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない。

### 4) 飲食について

会場入場後の水分補給以外の飲食は、当面禁止とする。

## 5) プロレス観客の管理

- ① 観客同士が密な状態とならないよう観客席の数を減らす。
- ② 大声での声援を送らないことや会話を控える（マスク着用での大声でない声援は可）
- ③ 会話をする場合にはマスクを着用する。
- ④ 選手との2ショット写真、握手、選手への差し入れなどは当面禁止とする。
- ⑤ 応援幕の持ち込みや掲示、リングへの紙テープの投げ入れは当面禁止とする。

運営に協力頂けないなど、安全確保の妨げとなると当社が判断した場合は、退場をお願いする（入場後は試合開始前であっても原則として返金には応じない）。

## 6) イベント会場

諸室・テント等 イベント等で使用する諸室等において、以下の対応を行う。

- ① 各所にアルコール消毒液を設置する。
- ② 全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ③ ドリンクを冷やすためのアイスボックス・イベントクーラーは使用しない。
- ④ 座席を設置する際に前後左右 1.5～2m間隔をあげ、お互いが正面に座らないよう配慮する。
- ⑤喫煙所は設けない。

## 7) ゴミの廃棄

鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。

### (6) メディア対応における注意事項

イベント等の取材申請を事前に締め切ることにより、会場に合わせた3密を避けるための取材者の人数調整が可能となり、取材者に事前に感染防止対策を周知する。

イベントを取材するメディアに対して

- ① 事前の対応「参加者への連絡事項」に記載されている内容を遵守すること。
- ② 取材者の人数も必要最小限となるように調整し、取材者は取材対象者から2mの距離を、取材者同士は最低1m間隔を保つよう声がけをすること。また、できるだけ短時間で取材を終えるよう、取材者に対して事前に依頼すること。
- ③ 健康チェックシートを事前に送付し、当日受付で提出をしてもらうこと。

### (7) 夏季における熱中症予防に向けた留意点

気温が高くなる夏季においては、各諸室の窓やドアの開放、参加者にマスク着用を義務化することなどにより、熱中症を発症するリスクが高まることから、感染拡大防止に向けた取組に併せて熱中症の予防も行う。

当社は、政府が示す「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントに基づく下記の点などに留意して各種活動を実施する。

#### ① マスクの着用

マスク（特に外気を取り込みにくいN95などのマスク）の着用時は、マスクを着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、体感温度の上昇など、身体に負担がかかることがあるため、参加者に対してはこうしたリスクを周知するとともに、こまめな水分補給を心がけることを徹底してく

ださい。また、高温や多湿といった環境下では、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクを外しても構わない旨アナウンスをする。

## ② エアコンの使用について

諸室等においてエアコンを使用する場合も、新型コロナウイルス対策のためには、冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があります。換気により室内温度が高くなる場合があるため、エアコンの温度設定を下げるなどの調整をする。

## ③ 涼しい場所への移動について

参加者に対しては、少しでも体調に異変を感じたら、速やかに涼しい場所に移動するようアナウンスする。なお、会場の関係で、医務室等の諸室にすぐに入ることができない場合は、屋外でも日陰や風通しの良い場所への移動を促せるよう事前の準備をする。

## (8) その他の留意事項

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、イベント当日に参加者より提出を求めた情報（上記3（1））について、保存期間（1ヶ月程度）保存します。また、イベント終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局とあらかじめ検討する。

## 4. 選手と関係者の予防対策について

### (1) 毎日の健康チェックと行動記録

- 1) 体温測定:起床直後・会場への出発前・就寝前等決まった時間での体温記録をする。
- 2) 行動記録:倦怠感、咳、咽頭痛、食欲低下の有無、睡眠時間等のチェック、食事や出向いた場所・同行者記録や人混みに入る等の感染リスクが高い状況の生じた場合を詳しく記録する。

### (2) 手指衛生の励行

- 1) 消毒用アルコール剤による手指衛生の励行が原則。

### (3) 出来るだけ人混みを避ける

- 1) 3つの密(密閉空間、密集場所、密接場面)を避ける
- 2) やむを得ず人混みに入る場合は正しくマスク着用
- 3) 不要不急の外出、外食を控える

### (4) 予防処置

- ① 起床直後に検温
- ② 距離をあけての食事(できるだけ2m、最低1m)を心がける。
- ③ イベント会場への出発前に検温
- ④ 感染予防の観点から、移動中のマスク着用と手指衛生の徹底。
- ⑤ 公共交通機関を極力使わず、やむを得ず利用する場合は混み合う時間帯を可能な限り避ける
- ⑥ リング並びにその周辺を除くすべてのエリア(控室を含む)において、マスクの着用を強く推奨
- ⑦ 共用物品の使用を可能な限り控える(タオル、シャワー用品等)
- ⑧ ロッカー室・シャワー室等の時間差利用等可能な限り濃厚接触を回避
- ⑨ 喫煙スペースも距離を取り、互いの会話を避け、換気に留意する。十分なスペースが確保できない場合は、人数の制限も必要

※但し、喫煙スペースの設置は選手エリアに限る

- ⑩ 試合中唾を吐く行為の禁止
- ⑪ 試合中、手を舐める行為を行わない

- ⑫ 手指衛生に努めたうえ、共用物品の使用を可能な限り控え、共用物品についてはできるだけアルコール等で消毒する
- ⑬ 試合前の声出しは控える。試合中の声出しは可とする。

以上